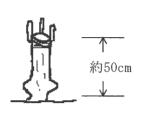
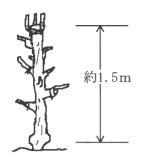
事	ii.	項	りんごわい性台植	樹における各種高接ぎ一	挙更新法の特性		
			わい性台樹を高力	接ぎによって一挙に品種	更新する場合、様々な	方法があるが、それらの	
ね	5	11		がある。そこで、各種で	高接ぎ方法とその後の特	性を明らかにしたので、	
			参考として供する。	ツェゲール			
			1 わい性台樹の-	一季更新万法			
			(1) 側 枝 更 新   ア 接ぎ木方法	<del>t.</del>			
	指				長さを残してせん去し	2~3 基ついた休眠は	
	11		を切り接ぎて		, ACEMO CENAO	( 2 0) > ( /C) ( HIV)	
	導		イ管理方法				
					うは水平に誘引する。		
	参				前にあらかじめ間伐し	ておくか、接ぎ木後、『	
	±z.		接した木との交差が目立ってきたら間伐する。 (2) 主 幹 更 新				
	考		(2) 土 軒 更 莉   ア 接ぎ木方泡	±		/	
	内				3芽ついた休眠枝を3~	4本程度切り接ぎする	
			イ 管理方法				
	容		接ぎ木後は、新しょうを支柱などに結束し、折損を防ぐ。接ぎ木翌年からは、三				
			幹延長枝を1本とし、残りの枝はカルスの形成を促すため、翌年はせん去せず、				
			平に誘引し、側枝として利用する。				
			(3) 中間型更新				
			ア 接ぎ木方法 側は再新り上幹再新のお車刑で、地上1.5m位で上幹再新し、それより下は側は				
		1 3	側枝更新と主幹更新の折衷型で、地上1.5m位で主幹更新し、それより下は側枝 新する。				
			イ管理方法				
			接ぎ木後、主幹部分は主幹更新と同様に取り扱い、側枝更新した枝は、接ぎ木				
			年から、水平に誘引する。側枝部分に高接ぎした枝が混み合ってきて、間引きし				
			年から、水				
				平に誘引する。側枝部分		合ってきて、間引きして	
			₺ 4 m×2 r	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな -	た高接ぎした枝が混み	合ってきて、間引きして	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び	平に誘引する。側枝部分nの栽植距離に収まらな その後の特性	たに高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。	合ってきて、間引きして	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 	た高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新	合ってきて、間引きし <sup>~</sup> 中間型更新	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び	平に誘引する。側枝部分nの栽植距離に収まらな その後の特性	た に 高接ぎした枝が混み い場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本	合ってきて、間引きして	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1 樹	平に誘引する。側枝部分nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度	た高接ぎした枝が混み い場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯	合ってきて、間引きし <sup>*</sup> 中間型更新 15本程度	
		-	も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 	た高接ぎした枝が混み い場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯 れ込みが入り、また	合ってきて、間引きし <sup>~</sup> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
		_	も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1 樹	平に誘引する。側枝部分nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度	た高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の	合ってきて、間引きし <sup>*</sup> 中間型更新 15本程度	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い	合ってきて、間引きし <sup>*</sup> 中間型更新 15本程度 概ね高い	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1 樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新	平に誘引する。側枝部分nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度	た高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の	合ってきて、間引きし <sup>*</sup> 中間型更新 15本程度	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い	合ってきて、間引きし <sup>*</sup> 中間型更新 15本程度 概ね高い	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い	注除では 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い	合ってきて、間引きして 中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1 樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛	注除では 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度	中間型更新15本程度概ね高い80~90cm程度良好概ね早い下枝の生育旺盛	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距	主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯 れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50	中間型更新15本程度概ね高い80~90cm程度良好概ね早い下枝の生育旺盛下枝が混み合う	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛	主幹更新 3~4本 接ぎ木部が入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度	中間型更新15本程度概ね高い80~90cm程度良好概ね早い下枝の生育旺盛下枝が混み合う接ぎ木部(地上約1.5	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距	主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯 れ込みが入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部(地上約1.5 m)の直径が7cm程度	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距	主幹更新 3~4本 接ぎ木部が入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度	中間型更新15本程度概ね高い80~90cm程度良好概ね早い下枝の生育旺盛下枝が混み合う接ぎ木部(地上約1.5	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更新法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育 その他	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が太いと枯れ込みがよる主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度	
月待	される	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木当年の新 しょうの伸び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育 その他	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木数の向び 花芽の着き易さ 収量の回復 5年目の生育 その他	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距離では維持困難 まざによって品種更新するには無毒の穂木を使用す	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木部が入り、また 風害等による主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 遅い 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部(地上約1.5 m)の直径が7cm程度	
	される。		も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更 新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木数の成功率 接ぎ木当年のが 花芽の着き場合 収量の生育 その他 わい性台樹を高打 1 接ぎ木部の切り	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早い 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難 まざによって品種更新するには無毒の穂木を使用する	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。  主幹更新 3~4本 接ぎ木が入り、主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である る際の参考となる。 る際の参考となる。 る。を塗る。	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度 までが限界である	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木数の成功率 接ぎ木りのきのでは ではずのでするでは ではずのでするでするです。 をはずるの他 おい性ぎぎず木ででする。 おい性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ないは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	平に誘引する。側枝部分 nの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早すが旺盛 4 m×2 mの栽植距離では維持困難 をぎによって品本を使レレン は無毒の、バッチとし、 3 年間は無肥料とし、	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木が入り、主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である る際の参考となる。 る際の参考となる。 るの後は木の状態に応	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度 までが限界である	
用.		意事項	も 4 m× 2 r 2 接ぎ 新 法 要 新 数/1 樹 更 新 成 功 率 接ぎ 木数 成 功 率 接ぎ 木数 の の の の で の で の で で で で で で で で で で で	平に誘引する。側枝部分 の栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難 まざに毒の、バッ門料として よってきたり、適宜側枝を ですする。	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ本が入り、主幹の 大部の人よるためによるためによるためによるためによるためによるためになるにはでいた。 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ地上約50 はがである。 を強しているとはである。 を強いでが限界である。 る際の参考となる。 を強しない。 を変したがである。 を変したの状態に応じます。 を変したの状態に応じます。 を変したの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまでが限界である。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度 までが限界である	
			も 4 m× 2 r 2 接ぎ木時及び 更新 法 接ぎ木数/1樹 更新の成功率 接ぎ木数の成功率 接ぎ木りのきのでは ではずのでするでは ではずのでするでするです。 をはずるの他 おい性ぎぎず木ででする。 おい性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ない性ができるでする。 ないは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	平に誘引する。側枝部分 の栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難 まざに毒の、バッ門料として よってきたり、適宜側枝を ですする。	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ木が入り、主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ適度 接ぎ木部(地上約50 cm)の直径が7cm程度 までが限界である る際の参考となる。 る際の参考となる。 るの後は木の状態に応	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度 までが限界である	
用.		意事項	も 4 m× 2 r 2 接ぎ 新 法 要 新 法 接ぎ 木数 / 1 樹 更 新 の成 功 率 接ぎ 木数 / 1 樹 更 新 ののでである。 を で の他 お 接ぎ で が と で で で で で で で で で で で で で で で で で	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早れ 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難 まざは無毒のが、が、 のでは無毒では無い。 のでは無いでは、 のではない。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。 主幹更新 3~4本 接ぎ本が入り、主幹の 大部の人よるためによるためによるためによるためによるためによるためになるにはでいた。 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ地上約50 はがである。 を強しているとはである。 を強いでが限界である。 る際の参考となる。 を強しない。 を変したがである。 を変したの状態に応じます。 を変したの状態に応じます。 を変したの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまでが限界である。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またの状態に応じます。 を変しまたのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、またのが、	中間型更新 15本程度 概ね高い 80~90cm程度 良好 概ね早い 下枝の生育旺盛 下枝が混み合う 接ぎ木部 (地上約1.5 m)の直径が7cm程度 までが限界である	
用.		等項当	も 4 m× 2 r 2 接ぎ 新 / 1 樹 更新 / 1 樹 更新 / 1 樹 更新 / 2 接ぎ 新 / 3 内 要ぎ 本 / 3 内 で の が で が で が で が で が で が で が で で が で	平に誘引する。側枝部分 mの栽植距離に収まらな その後の特性 側枝更新 30本程度 高い 90cm程度 概ね良好 早れ 側枝の生育が旺盛 4 m×2 mの栽植距 離では維持困難 まざは無毒のが、が、 のでは無毒では無い。 のでは無いでは、 のではない。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	に高接ぎした枝が混みい場合は、間伐を行う。  主幹更新 3~4本 接ぎ木がり、主幹の 折損もあるため低い 60~80cm程度 着きにくい 生育はほぼ延度 接ぎ木部(地上が適度 接ぎ木部(地上が100mのである。 を変える。 る。を変える。 その後は木の状態に応りる。 象地域 関下全域 験研究成績概要集	中間型更新15本程度概ね高い80~90cm程度良好概ね早い下枝の生育旺盛下枝が混み合う接ぎ木部 (地上約1.5m)の直径が7cm程度までが限界である	

## 【根拠となった主要な試験結果】







側枝更新

主幹更新

中間型更新

図 1 高接ぎ方法

高接ぎ時及びその後の生育 (平成3年、11年 青森りんご試) 高接き 3年目 3年目 3年目 5年目 接ぎ木 1年目平 木数 活着率 頂芽 樹幅 樹幅 方法 品 種 均新しょ までの 花 芽 樹高 樹高 側枝 枯死数 (%)う長(cm) 率(%) (m)(m) (m)本数 (m)0樹/3樹 つがる 28 87 587 68 4. 3 3. 1 4.4 2. 8 25 側枝 王 林 0樹/3樹 3.2 31 92 1025 71 4.8 3. 1 4.4 28 更新 3 28 87 0樹/2樹 708 23 4. 5 3. 1 4. 2 27 4.0 北 斗 36 91 0樹/4樹 77 3.7 3.5 3. 7 4.2 31 811 つがる 81 3 2樹/3樹 164 63 2.7 2.5 3.6 3. 1 16 王 主幹 林 2樹/3樹 4 3.7 · 1.9 3.8 2.8 14 87 更新 3 62 1樹/3樹 39 2.9 3. 1 2.0 3.9 S 14 北 87 0樹/4樹 4. 2 3 87 27 3.3 3.5 34 中間型 つがる 13 98 0樹/3樹 516 3. 9 3. 3 4. 3 3. 0 65 15 更新 王 林 16 77 0樹/3樹 758 74 4. 1 2.9 3.6 3. 2 25

つがる、王林及びふじは、 平成7年春、20年生、栽植距離4m×2m (125樹/10a) のスターキ ングデリシャス/M. 26に高接ぎ

1樹/3樹

北斗は、昭和62年春、12年生、栽植距離 5 m×3 m (66樹/10 a) のスターキングデリシャス/ M. 26に高接ぎ

696

53

3.8

3. 1

3.6

28

- 接ぎ木当年を1年目とした
- 3年目までの枯死数には、主幹に接いだ穂木の風害による折損も含む

高接ぎ6年目までの収量の推移と良品果率 (平成3年、 12年 青森りんご試 良品果率(%) 高接き 10a当たり収量(t) 種 品 方法 2年目 4年目 5年目 累積 3年目 5年目 6年目 4年目 つがる 0.2 3.8 5.9 38 30 33 4. 1 3.8 18 35 側枝 王 林 1.1 7.1 6.9 7.5 4.3 27 43 44 13 23 更新 S じ 0.1 3.2 5. 1 5.5 5.9 20 32 46 36 25 北 () 4.4 7. 1 6.9 6.6 25 56 43 49 つがる 3. 0 0 1.3 2.7 2.3 9 44 48 73 56 2.8 主幹 林 () 2.2 7 王 0 2.4 70 33 53 更新 Š () 0.2 3.8 2.2 3.6 10 58 63 48 39 1. 斗 0 0.3 2.8 4.2 4.8 12 74 53 80 中間型 つがる 3. 7 30 23 0.1 2.5 3. 1 2.9 12 34 19 更新 王 林 1.0 4.5 4.3 4.1 18 32 20 22 4. 1 36 3.0 3.0 50 56 39

- 良品果率:反射型光センサーを備えた選果機によって測定 (注) 1
  - つがるでは赤色度70以上、46玉~32玉かつ糖度12.1%以上
  - 王林では黄色度55以上、46玉~32玉かつ 糖度14.1%以上
  - ふじでは赤色度80以上で、46玉~28玉かつ糖度14.1%以上 (赤・黄色度とは、着色程度を示し、値が高いほど着色良好である) 北斗では、青森県出荷基準による秀級、優級の合計

  - 5年目の北斗については、平成3年の台風19号によりほとんどが落果したため、落果 の1果重に着果数を乗じて算出した